

2019

# 北九州海外マンガフェスタ

## Kita-Q International Manga Fest

11.30 SAT

### Talk Show

トークショー / 12:45~



「ニンジャバットマン」  
(月刊ヒーローズ)

久正人

×

バットマン  
アーティスト

Marcus To



イラスト / 久正人

TM& ©2019 DC Comics. All Rights Reserved.

イラスト / Marcus To

横山宏イラストの世界  
マシーネクリーガーアートを語る 14:00~



「マシーネクリーガー」  
「横山宏 Ma.K. モデリングブック」

横山宏



特殊美術造形作家  
おもちゃ・模型コレクター

土井真一

トークショー / 15:15~

### Talk Show

「銀河鉄道999」

松本零士

「終極エンゲージ」  
(少年ジャンプ+)

江藤俊司

×

「左ききのエレン」  
(少年ジャンプ+)

かっぴー



### Live Drawing

ライブドローイング / 16:30~

「Spider-Man,  
X-men」

DAVID  
BALDEON



## 世界のマンガクリエイターが大集結

12.1 SUN

### Talk Session

トークセッション / 13:15~

「日清食品  
カップヌードルTVCM  
"HUNGRY DAYS"  
キャラクターデザイン」

窪之内(仮) 策

©尾田栄一郎 / 集英社・フジテレビ・東映アニメーション



「台湾イラストレーター界の  
レジェンド」

平凡・陳淑芬

### Live Drawing

ライブドローイング / 14:30~

「Batgirl, Justice League  
アイズナー賞 / ミネート、  
NY Times ベストセラーコミック  
アーティスト / イラストレーター」

Babs Tarr



その他ゲスト多数参加! 詳細は公式HP・SNSにてチェック! ※ステージ内容は変更になる場合があります。

## 北九州海外マンガフェスタ

日程 11月30日(土) 10:00~18:00  
12月1日(日)

入場無料



↑ホームページ



↑ツイッター

SPECIAL MC スペシャル MC



竹若元博  
(パッファロー吾郎)



佐藤ピリオド。

会場 西日本総合展示場 新館

北九州ポップカルチャーフェスティバル2019 内

主催: 海外マンガフェスタ実行委員会

www.kaigaimangafesta.com



## 松本零士 (まつもと れいじ)

1947年から北九州市小倉北区(旧小倉市)砂津に育つ。小倉南高等学校在学中に『蜜蜂の冒険』(『漫画少年』1954年2月号掲載)でデビューし、地元の『毎日小学生新聞 西部版』で活躍した。高校卒業後に上京してからは、当初は少女漫画を、後に少年漫画や青年漫画を手がけ、『男おどん』のヒットにより漫画家としての地位を確立した。SF漫画家としても世界的に知られ、『宇宙戦艦ヤマト』『銀河鉄道999』『宇宙海賊キャプテンハーロック』など代表作多数。

2001年紫綬褒章、2010年旭日小綬章受章。日本漫画家協会常任理事、北九州市漫画ミュージアム名誉館長。



## 平凡 (ピンファン)

台湾の漫画家、イラストレーター。1988年台湾初の漫画月刊誌『漢堡』でデビューし、1995年雑誌で連載した『夏日之後』の単行本を上梓する。『夏日之後』が日本の漫画フリーペーパーで紹介されたことをきっかけに、日本での個展を数多く展開している。写真のようなはっきりとした造形と水彩画のような透明感が同居しているのが特徴。イラストの仕事を併し、1997年デジタルコミック『FOCUS』を発表。陳淑芬とのコラボレートによる作品集のシリーズ、『春夏秋冬』、『画集 The Library』など多数の作品を、台湾をはじめ日本、中国で発表している。

## 陳淑芬 (チェン・ショウフェン)

台湾のイラストレーター。1991年頃から挿絵などの仕事を始め、1993年、初の作品集『TOUCH』を発表。1997年から1998年にかけて夫の平凡とともに色をテーマにした作品集、画集などを発刊。日本の大手出版社の雑誌にイラストレーションを寄稿し、多くのファンを獲得している。2010年から2012年までは、日本のデジタルコミック誌『電撃コミックジャパン』にて、『ヒヤジンス21世紀的台湾娘事情』のマンガを月間連載。



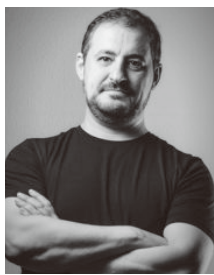
## BABS TARR (バブズ・ター)

アメリカ、カリフォルニア州サンフランシスコ在住のフリーランスのコミック作家、イラストレーター。大阪芸術大学、メリランドインスティテュートオブアート(MICA)、でイラストレーションを学ぶ。日本での影響を受けたファンアートがDCコミックスの目を引き、新しい『バットガール』シリーズを描くため雇われるきっかけとなった。それ以降、DCコミックス、イメージコミックス、マーベルコミックス、などで活躍。代表作は『バットガール』シリーズ、『モータークラッシュ』シリーズ。また、日本のマンガ『美少女戦士セーラームーン』のファンアートも非常に人気がある。2015年、『漫画のアカデミー賞』といわれる、アズナ賞に代表作『バットガール』でノミネートされた。なお、同作品はニューヨークタイムズの週間ベストセラーにも選定された。



## 久正人 (ひさ まさと)

2003年に『グレイトフルデッド』(講談社)で連載デビュー。代表作に『ジバウウォッキー』(講談社)『エリア51』(新潮社)など。2018年より『月刊ヒーローズ』(ヒーローズ)で『ニンジャバットマン』連載開始。現在、コミックス上巻が発売中(※下巻は10月4日発売)。また、『コミック乱ツインズ』(リイド社)にて『カムヤライド』を連載している。



## DAVID BALDEON (デイビッド バルデオン)

1999年にスペインで出版された『the Fanhunter: USA one shot』(Planeta DeAgostini)、『Fanhunter: Barnacity』(Gaslight/2000年)でプロ活動を開始。DC comicsで『the Blue Beetle and Robin series』(2007-2008)のペンシラーとして活動し、2009年からはMarvel Comicsで『Girl Without a World』『Young Allies』『X-Men Legacy』『Scarlet Spider』など数多くの作品に従事。また、IDWでは『D&D Forgotten Realms: Cutter』、Angry Birds comics、Skylanders comicsでもペンシラーとして参加。最新作は、Marvel Comicsの『Domino』『Gwenpool Strikes Back』など



## 窪之内(仮) 策 (くぼのうち かりさく)

海外マンガフェスタ北九州に出演する(かも)。※現在、絶賛調整中  
代表作『ツルモク独身寮』『ショコラ』は翻訳出版のみならず、テレビドラマ化されるなど、国内外でも広く展開された。現在はイラスト制作を中心に活動中。色鉛筆やマーカーを用いて描き出す、美麗で生き生きとしたキャラクターたちは年齢問わず多くのファンを魅了し、特に若い女性からの支持を得ている。日清食品カップヌードル テレビコマmercialでは、『HUNGRY DAYS シリーズ』『魔法の宅急便 篇』『アルプスの少女ハイジ 篇』『サザエさん 篇』(2017年度)『ワンピース編』(2019年度)のキャラクターデザインを担当。また、北九州市をモチーフにしたアニメ化プロジェクト『プルバスター』(小説2巻発売中)のキャラクターデザインも手掛けている。



## 江藤俊司 (えとう しゅんじ)

漫画家であり、原作者。そして絵も描ける。2012年、ライトノベル『飛行迷宮学園ダンゲロス-機獣の名探偵-』(2012年)の原案でデビュー。その後、学生時代からの友人である三輪ヨシユキ氏と共に、読切『ハトシェパスト』(2016年、原作:江藤俊司、漫画:三輪ヨシユキ)を発表。続いて、読切『魔女姫さまの忍』(同年)を山岸菜氏とのコンビで発表、その後再び三輪ヨシユキ氏と『終極エンジニア』を2017~2018年にかけて、少年ジャンプ+にて連載。映画(シン・ゴジラ)のルポ漫画などを手掛けるなど、マンガジャンルで幅広く活動中。



## かっぴー 漫画家

小学校の頃の夢は漫画家。自分よりうまいクラスメイトの絵を見て夢を断念、その後は映画の脚本家やテレビ番組の構成作家に憧れる。武蔵野美術大学を卒業後、2009年:大手広告代理店 東急エージェンシーのアートディレクターとして働くが、自分が天才ではないと気づき挫折。2014年:WEB制作会社 面白法人カヤックのプランナーに転職後、趣味で描いた漫画『フェイスブックボリス』をnoteに掲載したところ、大きな話題となり、ネットデビューを果たす。2016年に漫画家として独立。自身の実体験を生かしてリアスからギャグ、広告マンガまで、様々な語り口で共感を呼ぶ漫画を量産している。



## 横山宏 (よこやま こう)

イラストレーター、造形作家

武蔵野美術大学在学中からイラストレーターとして活動していた横山は卒業後すぐに寺山修司映画の挿絵助手として合田佐和子に師事。好きなジャンルだったSF雑誌に挿絵を描くようになると同時に幼少から続いていたプラモデルを表現手段として1982年よりオリジナル造形の連載を開始。それはやがてプラモデルとして世界のSFファンのもとに届くこととなります。ホビー誌を中心に横山がデザインしたSFメカやキャラクターを立体造形作品やイラスト作品として発表。自身が原作者である代表作『マシーナークリーガー』は、原作者本人による立体造形とイラストをもとに展開される作品として、模型ファンから熱烈な支持を得ている。幼少時から慣れ親しんだプラモデルや国内外の特撮作品などに影響を受けた横山のデザインは、強い作家性とともに近未来にあたかも実在するかのようリアル感を持せている。国内のみならず海外にも根強いファンを持ち、近年では横山が影響を受けたと公言するアーティストも少なくなく、自身が在籍する日本SF作家クラブ主催の『日本SF大賞』トロフィーや『手塚治虫文化賞』のトム像の制作者としても知られている。



## 土井真一 (どい しんいち) 造形作家

CM美術アートディレクター、クリエイティブオフィス『フライトギア』主宰  
造形作家として数々の模型コンテストや模型雑誌等で活躍。広告代理店のディレクターを経て、映画、CM、テレビ番組、イベント、企業プロモーション等の造形物制作会社『フライトギア』を立ち上げる。大型の特殊造形物をはじめ、着ぐるみ制作、特殊メイク、模型出版物の記事制作、VFXディレクション・画像処理など『造形』に関する事業を幅広く手掛け、高い評価を得ている。最近の仕事に『さだまさしの世界展』でのアートディレクター&人形・ジオラマ制作、北九州市立いのちのたび博物館での恐竜造形制作、世界で1000万以上アクセス、220の国と地域で閲覧された『雪道クワイ』の特殊メイクなどがある。



## Artist Alley アーティスト・アレイ

Alleyとは路地のことで、作家が自分の作品を直接販売するブースです。ライブペイントなど、普段見ることのない作家のパフォーマンスを見るチャンス! 2019年は国内外の作家が多数参加! 参加アーティストは公式SNSで随時紹介!

